



ゆたかっ子

学校だより② 4月号2
(令和6年4月17日発行)
発行責任者
豊見城市立ゆたか小学校
校長 上原 義仁

ゆめに向かって たくましく かしく生きる ゆたかっ子

学校経営方針説明 特集



令和6年度の始まりにあたり、本校の学校経営の全体構想を下記のとおりグランドデザイン(全体構想図)にまとめました。また、これに関する概要の説明を裏面に記載しています。

令和6年度ゆたか小学校グランドデザイン(全体構想図)

全教職員参画の学校経営

教育目標

ゆめに向かって たくましく かしく生きるゆたかっ子の育成

めざす子供の姿

自ら 考え 判断し 行動する (主体的な児童)

～自他を尊重し、情報を比較整理し、最適解を見いだそうとする児童～



第1期

出会い・希望
めあて・見通し

児童が主語の学校

次へつながるR-PDCAサイクル

第4期

成長・感謝
振り返り

「ポジティブな行動支援」の考え方を活かした指導・支援

認め合う学級風土づくり

学び・仲間・地域とつながる

単元・授業のマネジメント

	自他を尊重	情報を比較整理	最適解を見いだす
めざす子供の姿	<ul style="list-style-type: none"> 自分を肯定する。 自分の意見や考えを持つ 他者を肯定し、意見や考えを尊重 	<ul style="list-style-type: none"> 自他の意見や考え、周りの状況、様々な情報を材料に、根拠を持って 	<ul style="list-style-type: none"> 自分なりの最適解を見だし、 行動する
取組の重点	<ul style="list-style-type: none"> 共感的人間関係と支持的風土のある学級経営(QU、アセスの活用) 自己肯定感を高める支援・指導 わからないと言える、失敗しても再挑戦できる風土 子供が主体的に企画運営する特別活動(学校行事、委員会活動、学級活動等) 互いのちがいを認め合う人権教育 どこでもだれでも一貫した特別支援教育 命を守る危機回避能力を養う安全教育 ICT機器活用の知識・技能の習得 	<ul style="list-style-type: none"> 学習に向かう姿勢 「身につけさせたい力」を踏まえた授業 教科等横断的な魅力ある教育課程の工夫 わかる・できる・楽しいUDLの考え方を活かした授業 語彙指導(言葉の葉たいむ)の充実 主体的・対話的で深い学び(協動的な学びと個別最適な学び) 学校や地域を大切に思い貢献する心を育てる学習活動の工夫 効果的にICT機器を活用した学び 	<ul style="list-style-type: none"> 生徒指導の実践上の視点(4つ)を活かした授業づくり、教育活動 自己存在感の感受・共感的人間関係の育成 自己決定の場の提供・安全・安心な風土の醸成 見通しをもって課題解決に向かう授業づくり 振り返りから新たな問いが生まれ、次の学びへつながる授業づくり 学びが将来に役立つことを実感する授業づくり(キャリア教育の視点、キャリア「スポット」活用) SDGsの視点を取り入れた授業づくり 自学自習力を育む授業と家庭学習の取り組み
地域家庭連携	<ul style="list-style-type: none"> 早寝・早起き・朝ごはん 主体的な家庭学習の取り組み 学校応援サポーターの推進(保護者の積極的参加) 	<ul style="list-style-type: none"> 明るいあいさつ、てくてく登校 授業参観、学校公開、情報発信 	<ul style="list-style-type: none"> 地域教育資源の計画的・効果的な活用 PTAとの連携

第2期
挑戦
自力解決

授業・体験活動・行事で育てる

第3期
協働
対話

和顔愛語：支持的風土に満ちた居心地のよい学級づくり

率先垂範：教師は最大の「教育環境」

キーワードは **つながる**

学びがつながる
人とつながる
明日へつながる教育活動

いじめ解消率100%
をめざして!

共にゆたかっ子の育ちを応援!
【凡事徹底】基本を身に付けよう
【切磋琢磨】共に成長しよう
【持続可能】新たな力を発揮しよう

ゆたかっ子を育む七つの心得

- 一 笑顔と温かい言葉遣い
- 二 子どもの話をよく聞く
- 三 失敗は成長のチャンス
- 四 子どもを信じ、まかせよう
- 五 子どものよさを伝えよう
- 六 結果だけでなく、努力をほめよう
- 七 うちの子、よその子、みんな、ゆたかの子

家庭でも

学校でも

竹のようにすくすくと

知識は智慧に

想像は創造へ



- 自分を大切に
- 言葉を大切に

協育

地域とともに

地域教育資源の効果的な活用
「ひと・もの・こと」
学校地域協働本部との連携

響育

保護者・児童・関係者に
よる学校評価を生かした

学校教育

共育

保護者とともに

学校公開、教育活動報告
情報発信・連携・協力
学校応援サポーター
PTA 活動

つながる学校

表面の「グランドデザイン」の説明（概要）

児童にはその時々で夢や目標を持ち、それに向けて前向きに取り組んでほしいとの思いを込めて、教育目標を「夢に向かってたくましくかしこく生きるゆたかっ子」としています。そして、その達成のために、社会が激しく変化の中で、変化に対応し、自ら能動的に社会に働きかけることができる力をつけてほしいと考え、めざす子どもの姿を「自ら考え判断し行動する」としました。

めざす子どもの姿の下に、本年度「児童が主語の学校」を追記しました。より児童目線で学校教育を推進したいと考えています。

中段には、本校におけるめざす子どもの姿の具体像とそれに向けた主な取り組みを記載しています。本校では、1年間を4つに分け、それぞれの期間でテーマを設定し取り組みます。また、教師の統一した基本的考えとして「ポジティブな行動支援の考え方を活かした指導・支援」を行うことで、児童の自発的な行動を喚起するとともに自己肯定感の育成を図りたいと考えています。

下段には、学校でも家庭でも共通して取り組みたい事項として「七つの心得」を中心に学校経営上の基本的な考え等を記載しました。

ここでは、紙面の都合でごく大まかな説明のみとなっていますが、4月28日、日曜授業参観時の「学校経営説明会」で、口頭にて詳しく説明いたします。よろしければ、ご参加下さい。

ゆめに向かってたくましく かしこく生きる ゆたかっ子

自ら考え判断し行動する

成長・感謝

- お世話になった人たちにありがとう！
- これまでの自分に起きた出来事にありがとう！
- ゆたかっ子よ、大志をいだけ！夢に向かって・・・

協働

- 学び合い、教え合い、考え合う。人や社会とつながる喜び
- みんなの力で問題解決 みんなで協力しあって目標に向かう
- いろいろな個性とやさしさが集まってカラフルな世界

挑戦

- 挑戦の数だけ可能性がある。目標にむけて挑戦する
- 失敗は成功のチャンス！ころんだらすぐに立ち上がれ！（何度でもやり直すたくましさ）
- 一人一人の「個性」と「得意」と「好き」を伸ばす

出会い・希望

- 自分のことは自分でできる（凡事徹底）
- 自分の目標をもち、計画を立てる
- 毎日が新しい出会い。笑顔であいさつ

竹は節のおかげで強い風にもたおされることがなく空に向かってぐんぐん伸びていきます。節目を大切に一人一人の子にも強い節をつくる学校教育をめざします。

ゆたかっ子を育む七つの心得

家庭でも

七 うちの子 よその子
みんな ゆたかの子

六 結果だけでなく、
努力をはめよう

五 子どもよさを伝えよう

四 子どもを信じ、まかせよう

三 失敗は成長のチャンス

二 子ども話をよく聞こう

一 笑顔と温かい言葉遣い

学校でも



5・6年生において学年担任制（チーム担任制）を実施します

- 1 学年担任制（チーム担任制）とは
教員がチームになり、一人ひとりの子どもをチームで指導・支援する体制（右図参照）
- 2 目的
 - 児童の主体性をより大切にする。（「児童が主語」の学校）
 - 複数の教員で、児童を多面的・多角的に理解し、多様な関わりをすることで、児童一人ひとりをより大切に、個性の伸長を図る。
- 3 具体的には（本校の場合）
 - 学級数+1名（専科）でチームを組み学年担任となる。
 - 学級担任は教員が適切な間隔でローテーションすることを基本とする。
 - 授業は、教員が教科を分担する等して行う。（教科担任制等）

（学級担任制）



（学年担任制）



学校webサイトにも掲載しています。（個人情報保護のため、一部加工しています。）

学校ホームページまたはこちらよりどうぞ→

